

姉妹都市 愛媛県宇和島市との交流を推進します

11月30日、姉妹都市 愛媛県宇和島市の岡原文彰市長が、平成30年7月豪雨に伴う、本市の災害支援活動に対するお礼と復興状況の報告を行うため、表敬に訪れました。

宇和島市は、土砂崩れなどで12人の命が失われるなど、甚大な被害を受け、現在でも復旧活動が行われています。

市では、支援活動として、いち早く飲料水を届けることもに、被災された皆さんの一日も早い復旧・復興を応援するため支援金を届けています。さらに、8月27日～12月28日の4カ月間にわたり、道路や河川などの災害復旧にかかる災害査定が発注、監督などに



▲宇和島市への派遣出発式に臨む市職員



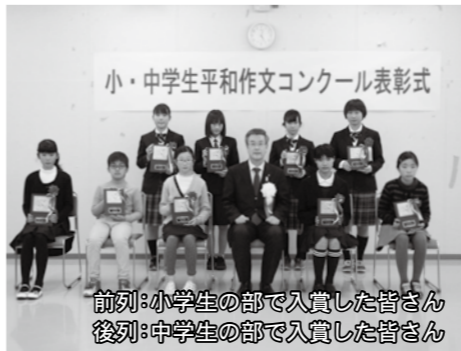
▲ミカン農園の被災状況を説明する岡原市長

関する業務など、延べ10人の技術職員を派遣しました。また、宇和島市立宇和島病院と大崎市民病院は、11月7日、病院事業における姉妹協定を締結しました。災害の経験を踏まえ、両院が各医療圏の災害拠点病院であること、災害時の医療支援体制の強化や医療分野での情報交換を深めることなどを目的とするものです。

今年、伊達家をゆかりとして結ばれた姉妹都市締結から20周年を迎えます。今後も各分野での宇和島市との交流を推進していきます。

小・中学生平和作文、読書感想文コンクールの入賞作品を表彰しました

市では、平和事業の一環として、子どもたちの平和に対する思いや考えを発表する「小・中学生平和作文コンクール」を毎年実施しています。本年度は、小・中学生合わせて241作品の応募があり、10人の皆さんが入賞しました。入賞作品は、冊子にまとめ各学校や図書館へ配架するほか、市ウェブサイト(<http://www.city.osaki.miyagi.jp/index.cfm/17,0,67,hnm>)にも掲載します。



前列：小学生の部で入賞した皆さん
後列：中学生の部で入賞した皆さん

また、読書活動の普及向上のため「大崎市読書感想文コンクール」を毎年実施しています。本年度は、市内小・中学校38校から433点の応募があり、31点の入賞作品が決まりました。入賞作品集は図書館で借りることが出来ます。皆さんも図書館でたくさんの本と出会ってみませんか。



入賞した皆さん

Discover Osaki

地域発 お・ら・ほ・の・ま・ち

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほの美味しい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント……。そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。



古川発

大崎で生産された米が、日本一・世界一に選ばれました！

11月26日・27日に行われた「第20回 米・食味分析鑑定コンクール国際大会」(岐阜県高山市)と、12月1日に行われた「第12回 あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテストin庄内町」(山形県庄内町)で、古川地域の齊藤武康さん・慶治さん親子が出品した「たきたて」「つや姫」が最高賞である金賞を受賞しました。

米・食味分析鑑定コンクール国際大会では、海外を含め5,717検体がエントリー。食味分析計などの1次・2次審査をクリアした国際総合部門45人が最終審査にすすみ、見事、「たきたて」が金賞の20点に選ばれました。

最終審査の食味官能審査では、金賞のうち最多得票数を獲得した3人(同点)に選ばれ、金賞の中でも世界一の米生産者が本市から誕生したことになります。武康さんは、平成28年の同コンクールでも金賞に輝いており、今回で2度目の受賞となりました。

主催した米・食味鑑定士協会 鈴木秀之会長から

は「齊藤氏の『たきたて』は光沢が非常によく、弾力・甘み・のど越しのどれもが優れ、冷めても食味が落ちない。海外でも十分通用する」と評価をいただきました。

また、「第12回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテストin庄内町」メジャー部門においては、慶治さんが出品した「つや姫」が、出品総数470点から、第一位となる最優秀金賞を受賞しました。受賞された齊藤親子は「受賞する米を周囲から期待されている。今後も今まで以上にいい米を作っていきたい」と、口をそろえて抱負を述べていました。

齊藤さんが栽培した「たきたて」は、仙台三越や長者原サービスエリアなどで販売されています。



▲受賞報告をする齊藤武康さん(左)と慶治さん(右)

鹿島台発

品井沼 菱取りの歴史を唄で伝える



▲一般の部で優勝した尾崎壽明さん。おめでとうございます！



▲菱は沼や川に生える水草で、昭和初期まで品井沼で収穫されていました

のです。歌詞には、船に乗って菱をとり、雉が鳴く様子などが歌われています。菱の収穫期には、菱取り唄や品井沼を見物する人でにぎわい、地域の名物であったことが記録に残っています。

12月9日、「第14回宮城菱取り唄全国大会」が鹿島台瑞・華・翠交流施設(鎌田記念ホール)で開催され、県内外から参加した民謡の名人107人が歌声を競いました。大会は、鹿島台地域に伝わる「菱取り唄」に込められた地域の風土や習慣を「ふるさとの宝」として継承するため、平成5年から開催されています(平成16年から大会名称を現在のものに変更)。

菱取り唄は、品井沼が干拓される以前、広大な沼一面に生えていたとされる菱を取るときに唄われていたもの

| 28日 | 27日 | 23日 | 14日 | 10日 | 7日 | 6日 | 1日 | 2018 |
|---------|-----------------|--------------------|------------------------------------|-----------------------------|--|--------------------|--------------------|-----------|
| ● 仕事納め式 | ● 田尻総合支所庁舎安全祈願祭 | ● おおさき高校生タウンミーティング | ● ディスカバー農山漁村(むら)の宝(第5回選定)選定証授与式報告会 | ● トランスイート四季島お出迎え(3月28日計22回) | ● 第13回大崎市読書感想文コンクール表彰式 ● 年末年始特別警戒・安全・安心まちづくり合同キャンペーン開始式 | ● 大崎市議会第4回定例会(21日) | ● えひめ宇和島みかんフェア(2日) | 12月の主な出来事 |



▲12月14日、東北電力(株)古川電力センター、(株)ユアテック古川営業所からLED防犯灯30灯が寄贈されました